

- 問1 桓武天皇は、朝廷の支配力を高めるために東北地方へ大規模な軍を派遣しました。このとき、軍の総大将として任命され、蝦夷（えみし）の抵抗を抑えて現在の岩手県に胆沢城を築くなどの成果を上げた人物と、その官職名の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------|-----------------|---------------|-------------------|
| 1. 中大兄皇子 — 太政大臣 | 2. 足利尊氏 — 征夷大將軍 | 3. 小野妹子 — 遣隋使 | 4. 坂上田村麻呂 — 征夷大將軍 |
|-----------------|-----------------|---------------|-------------------|
-
- 問2 12世紀の東北地方において、奥州藤原氏が中尊寺金色堂に代表されるような壮麗な仏教文化を築くことができた背景として、最も適切な説明はどれか。（2022年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 鎌倉幕府から地頭として任命され、東北全域の徴税権を公式に認められたことで、安定的な財源を確保できたから。 | 2. 東北地方で産出された豊富な金（きん）や名馬の交易を通じて、都の文化を導入できるほどの強大な経済力を蓄えていたから。 | 3. 平氏との親密な関係を通じて、都の最新の建築技術と、瀬戸内海の制海権を背景とした物流網を掌握していたから。 | 4. 日宋貿易の拠点として港湾を整備し、宋から輸入した大量の貨幣と高級な陶磁器を独占的に流通させていたから。 |
|---|--|---|--|
-
- 問3 奥州藤原氏が平泉に中尊寺金色堂を建立した背景や目的について、当時の社会情勢を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 前九年の役や後三年の役といった激しい戦乱の犠牲者を弔い、仏教の力によって平和な理想郷である極楽浄土を現世に表現しようとした。 | 2. 鎌倉を拠点とする源頼朝の軍事力に対抗するため、堅固な防壁を備えた軍事要塞として金色堂を機能させようとした。 | 3. 東北地方に独自の宗教を広めるため、京都の平等院鳳凰堂を模倣せず、金箔を使用しない質素な建物を目指した。 | 4. 太宰府を通じて行われていた大陸貿易の利権を独占し、富を誇示することで京都の朝廷を政治的に制圧しようとした。 |
|---|--|--|--|
-
- 問4 西暦804年、空海が遣唐使とともに唐へ渡った頃、日本国内で行われていた政策や出来事として正しいものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 聖徳太子が冠位十二階を定め、家柄にとらわれない人材登用を行った | 2. 承久の乱ののち、朝廷を監視するために京都に六波羅探題が設置された | 3. 坂上田村麻呂が征夷大將軍として東北地方に派遣され、支配地域を広げた | 4. 大名を厳しく統制するために武家諸法度が制定され、違反者は処分された |
|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
-
- 問5 遣唐使の停止を建議した菅原道真は、その後の政争に敗れ、九州にある外交や国防の拠点へと左遷されました。この道真が最期を迎えた場所を何と呼びますか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 多賀城 | 2. 大宰府 | 3. 胆沢城 | 4. 平城京 |
|--------|--------|--------|--------|
-
- 問6 10世紀の平安時代において、それまでの唐の文化の影響を強く受けた段階から、日本の風土や生活、日本人の感性に合わせた独自の特色を持つ文化が発展しました。この文化を何と呼びますか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 天平文化 | 2. 国風文化 | 3. 鎌倉文化 | 4. 安土桃山文化 |
|---------|---------|---------|-----------|
-
- 問7 平安時代中期、藤原氏が自身の娘を天皇の妃（きさき）とし、その間に生まれた子が天皇になると、幼少期には摂政、成人後は関白という職について政治の実権を握りました。このような政治体制を何といいいますか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|---------|-------|---------|
| 1. 親政 | 2. 執権政治 | 3. 院政 | 4. 摂関政治 |
|-------|---------|-------|---------|
-
- 問8 平安時代において、自分の娘を次々と天皇のきさきにすることで有力な親戚となり、摂政や関白として政治の実権を握る「摂関政治」の全盛期を築いた人物は誰ですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 藤原道長 | 2. 西郷隆盛 | 3. 足利義政 | 4. 徳川家光 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問9 桓武天皇が実施した政策について述べた文章において、当時の東北地方に対する動向として正しいものはどれですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 征夷大將軍を任命して大軍を派遣し、蝦夷と呼ばれた人々の居住地を制圧して支配域を拡大した。 | 2. 東北地方に金が豊富にあることが分かったため、奥州藤原氏に中尊寺金色堂を建立させて管理を任せた。 | 3. 独自の勢力を保っていた蝦夷と和平を結び、多賀城を拠点とした自由な交易を奨励した。 | 4. 唐から帰国した最澄や空海を東北へ派遣し、仏教の力で現地の有力者を教化しようとした。 |
|---|--|---|--|
-
- 問10 平安時代、それまでの大陸文化の影響を強く受けた文化から、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達した背景として、最も適切な説明はどれか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--------------------------------------|--|--|
| 1. 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との公的な交流が途絶えたこと | 2. 足利義満が金閣を建てたことで、公家文化と武家文化が融合し始めたこと | 3. 平清盛によって日宋貿易が盛んになり、宋の新しい文化が庶民にまで広まったこと | 4. 鉄砲の伝来やキリスト教の布教とともに、ヨーロッパの新しい知識が伝わったこと |
|---|--------------------------------------|--|--|
-
- 問11 平安時代後期、白河天皇は天皇の位を譲って上皇となった後も、それまで有力貴族が独占していた政治上の実権を自らの手に取り戻そうとしました。このように、上皇が摂政や関白の力を抑えて直接政治を行う体制を何といいいますか。（2024年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 律令政治 | 2. 武家政治 | 3. 摂関政治 | 4. 院政 |
|---------|---------|---------|-------|
-
- 問12 10世紀の平安時代中期、関東地方で平将門が乱を起こしたのとほぼ同時期に、瀬戸内海の手を率いて朝廷の政治に対する反乱を起こした人物は誰ですか。（2019年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 源義朝 | 2. 藤原純友 | 3. 北条泰時 | 4. 平将門 |
|--------|---------|---------|--------|
-
- 問13 平安時代末期に白河上皇によって始められた「院政」という政治体制の説明として、当時の政治の仕組みの変化をふまえた記述として最も適切なものはどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 地方で成長した武士が、京都の朝廷から政治権力を完全に奪い、鎌倉に独自の政府を組織した。 | 2. 坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命され、東北地方を平定することで天皇による全国支配を完成させた。 | 3. 天皇の母方の親戚である外戚が、天皇に代わって全ての政務を決定する摂関政治の形式をより強化した。 | 4. 藤原氏が摂政や関白として権力を独占する仕組みを抑えるため、天皇の位を退いた上皇が政治の主導権を握った。 |
|--|---|--|--|